

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

こまどり幼稚園・保育園

## I. 園の教育目標

教育基本法及び学校教育法にしたがい、学校教育を行い、よき伝統の上に「未来に生きる夢を持った心身ともに調和の取れた子ども」を育成する。また、子ども達が将来自分の持てる能力を充分発揮して社会に貢献できる人間の素地の育成を目指し、次の四つを掲げる。

- (1) 人間として大切な豊かな心の素地を養う。
- (2) 健康かつ安全で人間らしい生活を送るための基本的生活習慣・態度を育て、健全な心身の基礎を養う。
- (3) 科学的夢を育て、自然の事物現象に旺盛に反応する感性を育てる。
- (4) 広い心を持ち、国際的に開かれた心情の素地を育てる。

## II. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

子どもの実態に沿って、指導計画の見直しを行う。生活習慣の定着と保護者対応、安全管理などを図る。また、本園の特色である科学あそびを更に充実させていくことを重点項目とする。

## III. 評価項目の達成及び取り組み（要約）

	評価項目	評価	取り組み
1	子どもの実態を把握し、生活やあそびの充実を図る。	A	・一人ひとりが自己を発揮し、あそびを通して様々な体験を重ねながら心身の調和のとれた発達を築いていくことができるよう、環境の構成に取り組んだ。
2	規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	A	・園生活の中で、基本的生活習慣を繰り返し指導し自立を促した。 また、家庭と協力し進めるため保護者との連携を密にした。 ・感染症対策として、手洗いに加え、3歳児以上について保護者と協力のうえマスク着用を推進した。あそびや場に応じたマスクの着用を指導してきた。
3	保護者に幼稚園の情報や、子どもの姿等を伝える。	A	・園の教育方針や取り組みをホームページや保護者懇談会や園便り、学年便りを通して情報発信した。 ・写真の掲示を工夫し、教育保育の可視化をすすめた。 ・今年度は、新型コロナウイルス感染症対策についても文書やメールでこまめに発信し、健康安全についての啓発を行った。

S：十分に成果があった A：成果があった B：少し成果があった C：成果がなかった

#### IV. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価	理由
A	各自、評価項目に基づき自己評価に取り組むことができた。今後も、資質向上のため教育保育を振り返り、取り組むべき課題を自ら認識して改善していくよう努力する。

#### V. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育課程・指導計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳から小学校就学前の子どもの発達理解を深め、見通しをもった教育保育の展開を図る。</li> <li>・感染症対策を図りながら、人とのかかわりや環境を通したあそび（学び）の場を確保し、育ちに必要な経験を重ねていくことができるよう保育計画を見直し検討する。</li> </ul>
安全健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あそびを通して、遊具や道具の使い方を指導する。</li> <li>・危険のないように各年齢に合った生活やあそびの場を整える。</li> <li>・職員の健康安全向上に努める。</li> </ul>
保護者対応・保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を要する子どもや保護者、配慮が必要な保護者等、一人ひとりの個性や考えを認め合い必要なサポートを提供するため外部の専門機関の情報を伝える窓口となり、保育の多様性を受け入れる。</li> </ul>

#### VI. 学校関係者評価委員会の評価

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの育ちを一番に考えた教育保育や環境の整備等、コロナ禍においても出来ることを考え取り組む姿勢は素晴らしいと思います。また、保護者に対する細かい対応を含め、今後も親子にとって学びの場であり安心の場であり続けて欲しい。</li> </ul>